

第39号 メールマガジン 水土里

メールマガジン「水土里」とは？

静岡県内の基盤整備や施設点検の状況、農業農村整備に関する研修会等に関する情報をお知らせしています。



Webページはこちら↑

基盤整備推進協議会の設立総会を開催しました

賀茂



令和3年11月16日（火）、松崎町小山地区において基盤整備推進業協議会の設立総会を開催しました。

基盤整備推進協議会は、田・畑3.6haの区画整理により、地域農業の振興を図ることを目的としており、地元関係地権者28名、耕作者3名の計31名で構成されています。

設立総会では、「協議会の設立」、「会の規約」、「役員を選出」についての決議が行われ、全ての案が承認されました。協議会后には、事業スケジュールや、換地業務、整備後の土地の利活用について農林事務所から説明を行いました。

基盤整備は、役員を中心に地元関係者が主体となって進めていく事業ですが、町、県ともにサポートしながら、次世代につながるより良い農地を作っていきます。

賀茂農林事務所農村整備課 0558-24-2080

中清水土地改良区工事水利委員会を開催しました

東部

令和3年11月24日（水）、御殿場市中清水地区で第1回工事水利委員会を開催しました。

ほ場整備事業を実施している中清水地区では、換地計画原案がほぼ決まり、年度内の工事着工を予定しています。

工事水利委員会は、工事着工後の施工に係る地元からの要望や意見を調整し、県につなぐことで、円滑に工事を進めるための重要な役割を担っていますが、今回は、農林事務所から、設計基準の考え方や委員の役割などを説明しました。

年明けには、施工業者による工事説明会が予定されており、そこで出た地元からの意見や要望をとりまとめるのが最初の仕事になります。

東部農林事務所では、引き続き、地元・御殿場市などの関係機関と連携して、事業を推進していきます。



東部農林事務所用地管理課 055-920-2163

中部

畑総新丹谷地区で モニュメント完成式典が開催されました



令和3年11月1日（月）、新丹谷土地改良区主催により「畑総新丹谷地区モニュメント完成式典」が開催されました。

新丹谷地区では、平成9～27年度にかけて県営畑地帯総合整備事業により、コストを最小限に抑えつつ、大規模な畑地整備を完成させており、全国に誇る優良事例として表彰もされています。

現在は、平坦な大規模園地を活用し、柑橘を主体とした生産性の高い農業が展開されているとともに、ミカンオーナー事業による都市住民との交流などの地域振興も行われています。

完成式典では、土地改良区関係者のほか、中部農林、静岡市、清水農協の職員など約40名が出席し、モニュメント（未来に向かって「夢をかなえる鐘」）の披露や、庵原地区女性コーラス隊による合唱などが行われ、式に花を添えました。

新丹谷土地改良区の西ヶ谷理事長からは、「素晴らしい農地ができたので、夢を持って前向きに進んでいきましょう！」との言葉があり、今後の地域農業の発展を、参加者全員とともに、胸に刻みました。

当地区では、現在も地元要望に基づき、高品質な柑橘の生産強化に向けた県営用水整備事業を進めており、更なる農業の発展が期待されています。

中部農林事務所農村整備課 054-286-9267

UAV測量研修を行いました（OJT研修）

中部

令和3年11月19日（金）、中部農林事務所の農業土木職員、静岡市農地整備課職員、JA職員を対象にUAV測量研修会を行いました。

現在、農業農村整備事業を推進していく上で、ICT技術の活用が期待されています。

本研修では、UAV測量の技術情報や飛行に関する法律、申請等についての座学と併せ、実際にUAVを操作することで、ICT技術を学ぶことを目的として、開催しました。

座学では、静岡県土地改良事業団体連合会（以下「県土連」という。）の職員を講師として招き、ドローン使用における規則、その操作方法や画像データの作成分析など、実際の操作画面を示しながら説明を受けました。また、（株）コマツカスタマーサポート（以下「コマツ」という。）からは最新のICT技術について、説明を受けました。

実習では、県土連やコマツによるドローン操作の見学や、事務所が所有するドローンの操縦演習を行いました。

本研修は、座学と実習を同時に行うことでより理解の深まる研修となり、今後の業務の参考とすることができました。

中部農林事務所では、事業の計画・実施ともにUAVを積極的に活用できるよう、今後も知識向上、活用に努めます。



中部農林事務所農村整備課 054-286-9267

志 榛

牧之原市朝生原地区で 茶園区画整理の換地計画原案を作成しました



牧之原市の朝生原地区では農地中間管理事業を活用した茶園基盤整備を進めています。

その区画整理工事の基礎となる換地計画原案が基盤整備組合により作成されたため、令和3年10月31日（日）に全体説明会を行いました。

今後、この内容について全地権者から同意を取得した後、工事を発注し、来年の一番茶後には現場工事が開始できるよう準備を進めていきます。

志太榛原農林事務所用地管理課 054-644-3406
牧の原用水課

西 部

荒廃農地を優良農地へ ～伊左地地区の工事に着手～

浜松市西区伊左地町の伊左地地区では長年、耕作されていない農地が多くありましたが、平成30年から地元関係者等と調整を行い、令和2年度より、「県営農地耕作条件改善事業 伊左地地区」として事業着手しました。

事業では農道・排水路・ほ場の整備を行い、農地中間管理機構により担い手への集積を行います。

令和2年度は測量設計、令和3年度は用地買収を行い、10月から伐採作業に着手しました。

伐採後にはレーザー測量を行い、ICT施工で効率的な施工を行う予定です。

西部農林事務所では、令和4年度の事業完了に向け、関係者との調整を行っていきます。



西部農林事務所農地整備課 053-458-7227

西部

三方原用水 管内調査を実施！



西部農林事務所では、天竜川の秋葉ダムで取水した水を浜松市の約3,300haの農地へ供給している三方原用水の更新事業を平成28年度から実施しています。

三方原用水は、浜松市の多種多様な作物栽培に利用されており、長期の断水が難しいため、ファームポンド容量で供給可能な10月から4月に「3日断水4日通水」（1週間のうち火曜日～木曜日の3日間断水）を繰り返し水路のリニューアル工事を実施しています。

現在、浜松市西区西山町の伊佐見用水路では、断水期間を利用し、管内の工事前調査を実施しており、既設管の曲がり等の線形を調査し、既設管内に新しい管を挿入する工事が問題なくできるか確認しています。

今回の調査結果により、工事計画を策定し、年明けより工事に着手する予定です。

西部農林事務所農地整備課 053-458-7227

三方原用水 監視診断を実施！

西部

西部農林事務所では、基幹的農業水利施設の定期的な監視診断を行っており、本年度の診断を、令和3年11月15日（月）、11月16日（火）に浜松土地改良区と合同で実施しました。

今回は農業水利施設4箇所（ファームポンド）を対象とし、ひび割れ測定、目地の開き、シュミットハンマーによる圧縮強度測定などの調査を行いました。



西部農林事務所農村整備課 053-458-7227
農地整備課